

技術を^{おしだ}押し出し、未来へ **ワクワク**



フクビ化学工業株式会社

個人投資家さま向けWEBセミナー

(2026年3月)

【東証スタンダード・名証メイン】

証券コード：7871



- 1. 会社概要 . . . P3**
2. 企業価値向上への取り組み . . . P15
3. 業績推移と株主還元 . . . P30



企業理念

化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する
企業経営を通じて、地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する



代表取締役 社長執行役員COO

森 克則

会社名	フクビ化学工業株式会社 (創立72年)
本社	福井県福井市三十八社町33-66
事業内容	建築資材・産業資材・精密化工品の製造・販売
連結売上高	399 億 73 百万円 (2025年3月期)
連結従業員数	983人 (2025年3月期末)
拠点	<ul style="list-style-type: none">■ 営業拠点 … 全国に19拠点 (本社・支店・営業所・出張所)■ 製造拠点 … 福井県内を中心に6工場 (本社、坂井、三方、あわら・岐阜・千葉)■ 連結子会社 … 国内4社、海外3か国4拠点<ul style="list-style-type: none">・リフォジュール(株) (東京都品川区)・フクビハウジング(株) (岩手県)・アリス化学(株) (福井県)・フクビ岡山(株) (岡山県)・FUKUVI USA,INC.(米国オハイオ州)・FUKUVI VIETNAM CO.,LTD.(ベトナム社会主義共和国ドンナイ省)・FUKUVI HOLDINGS(THAILAND)CO.,LTD./FUKUVI(THAILAND)CO.,LTD.(タイ王国バンコク市)

「樹脂」の“配合・成形・加工”技術で様々な分野の日常を支える

“開発型”化学メーカー

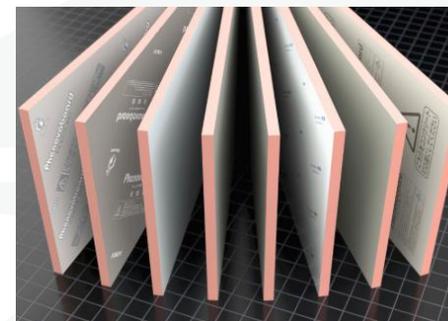
異形押出成形



機能性コーティング



フェノール発泡成形



1953～創業期



- ・福井ビニール工業(株)設立
八木熊吉が代表取締役役に就任
- ・「異形押出成形」をコア技術に
建材メーカーとしての歩みの始まり

1970～成長期



- ・フクビ化学工業(株)に商号変更
- ・『見切り』『バスパネル』など
樹脂製建材のパイオニアとして
成長を続ける

2002～転換期



- ・八木誠一郎(現会長CEO)が
代表取締役社長に就任
- ・「断熱材」「環境配慮型商品」など
新たな成長領域への展開と
産業資材分野の事業領域拡大

2023～2030年に向けて



- ・創立70周年、第7次中期経営計画が始動
- ・森克則が代表取締役社長COOに就任(2024.6)
- ・「**企業価値向上2030～資本コストや株価を
意識した経営の実現に向けて～**」公表(2025.3)

異形押出成形・塗布発泡成形技術からスタートし、**技術領域を拡大。**

これまで**9,000点以上**の製品を市場に提供。

【技術領域の広がり】



“日常の暮らしの様々な場面”で、フクビ化学の技術が活躍しています。

建築資材分野 (住宅・非住宅)



業界最高クラスの高性能断熱材『フェノバード』



断熱・遮音性に優れた樹脂製内窓『メルツエンサッシ』
(埼玉県：城西大学 坂戸キャンパス青光会館)



地域間伐材を活用した再生木デッキ『プラスッド』
(東京都世田谷区：馬事公苑)



断熱性を有する浴室用天井・壁装パネル
『バスパネル』・『マルチスパン』

モビリティ分野



自動車のメーターパネル『ハーツラスAR』
(反射防止コーティング)



車載イルミネーション部材『光ガイディングバー』
※Image generated by AI

インフラ・まちづくり分野

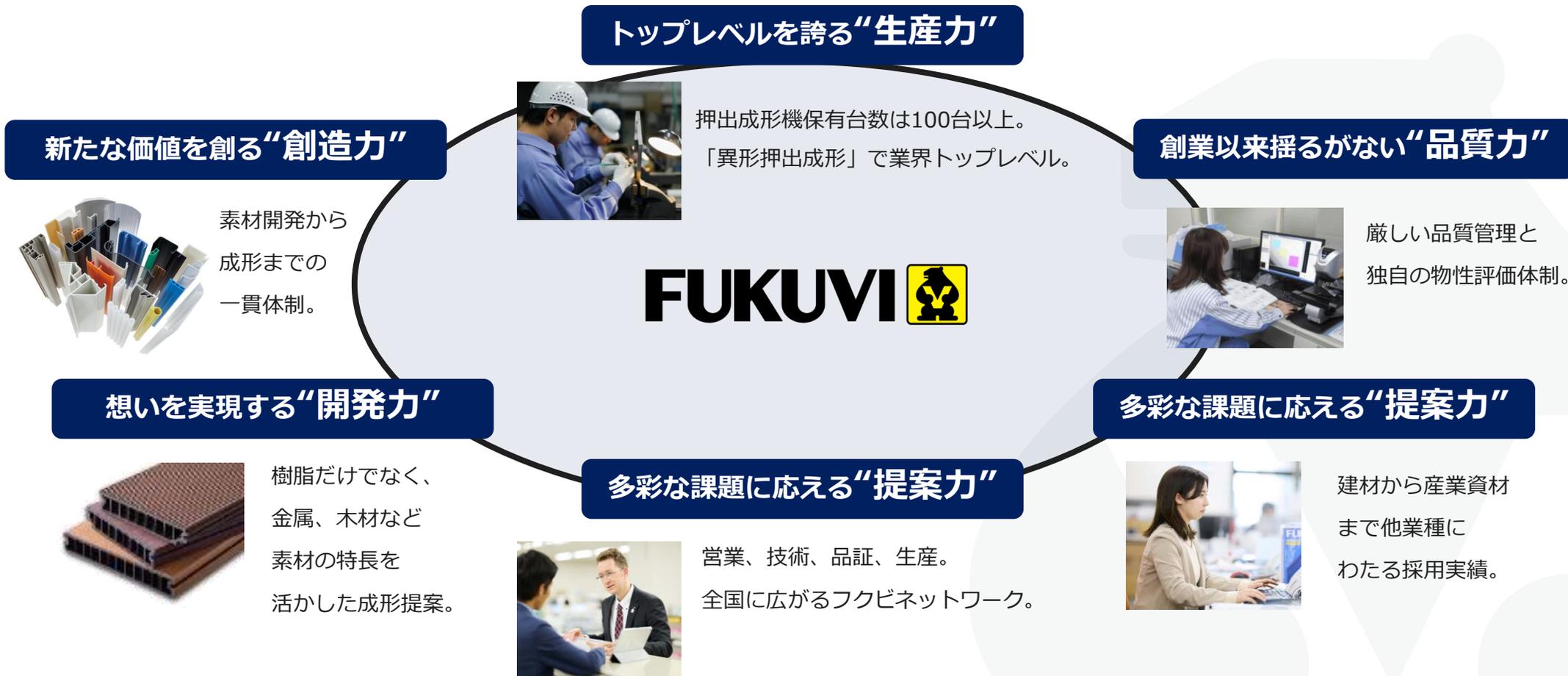


炭素繊維複合材を用いた橋脚補強工事 ※実証実験

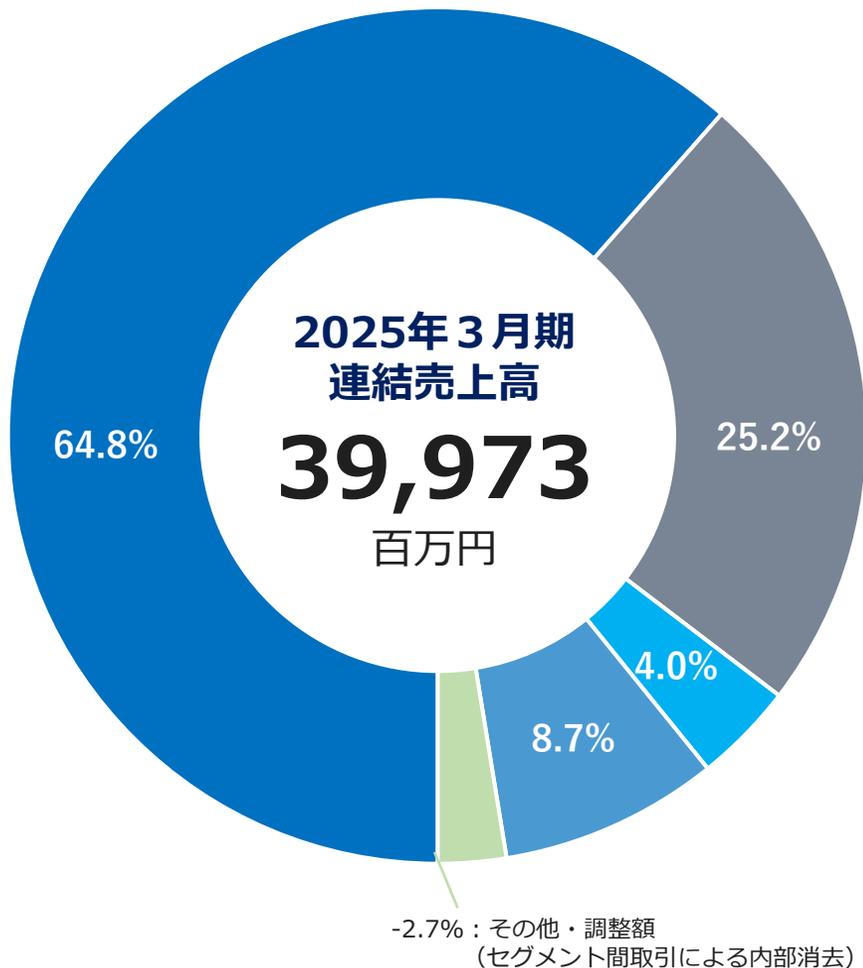


屋外家具ブランド『ファンダライン』
(東京都港区：新田町ビル)

化学のチカラで、想いをカタチに。私たちは、“6つのチカラ”でお客様の想いを実現します。



セグメント別売上構成比



■ 建材事業 : 25,932 百万円

外装建材、内装建材、床関連材、システム建材等の開発・製造・販売



■ CSE事業 : 10,059 百万円

Customer Satisfaction & Expectation

住宅設備、車両分野を主としたユーザーからの受注によるOEM・ODM製品等の開発・製造・販売



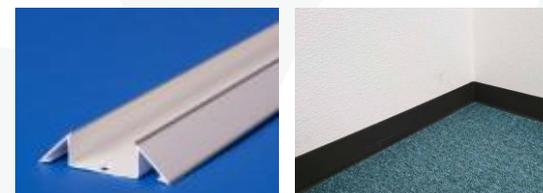
■ 精密事業 : 1,593 百万円

反射防止付樹脂シートを主とする機能性コーティング製品の開発・製造・販売



■ グローバル事業 : 3,462 百万円

海外市場向けの外装建材、内装建材等の開発・製造・販売



建材事業

事業の概況

断熱ニーズの高まりにより断熱材関連分野が伸長、高性能断熱材『フェノバボード』の販売が好調に推移。
また、非住宅分野では工場・倉庫向けの商品群『PLANTOOL』、地域間伐材を活用した再生木『プラスッド』の拡販も進む。

主なトピックス

- ・隈研吾建築都市設計事務所デザイン監修の『**プラスッド デッキND KKAA**』発売（2025年5月）。
- ・旧今庄中学校（福井県南条郡）を活用した文教施設での**断熱改修実証プロジェクト**始動（2025年9月）。
- ・フクビ岡山(株)での『**フェノバボード**』**第2生産拠点建設投資計画**が経済産業省の「大規模成長投資補助金」に採択・交付決定（2026年2月）。

主要製品



業界最高クラスの断熱性能を誇る
高性能断熱材『**フェノバボード**』
(熱伝導率：0.019W/m・K)



地域間伐材×樹脂の環境共生型商品
再生木『プラスッド』(神奈川県横浜市：横浜ハンマーヘッドデッキ)



結露対策の**軽量断熱パネル『シズクリア不燃』**
(親水コーティングを付与)

CSE事業

事業の概況

非建築資材系OEM品のうち、イルミネーション部材『光ガイディングバー』、物流資材『フォークガード』やバスなどの大型車両向け部材が好調に推移。

主な採用例

— 住設関係 —



※イメージ

樹脂サッシ（枠材）、床クッションフロア など

— 産業資材 —



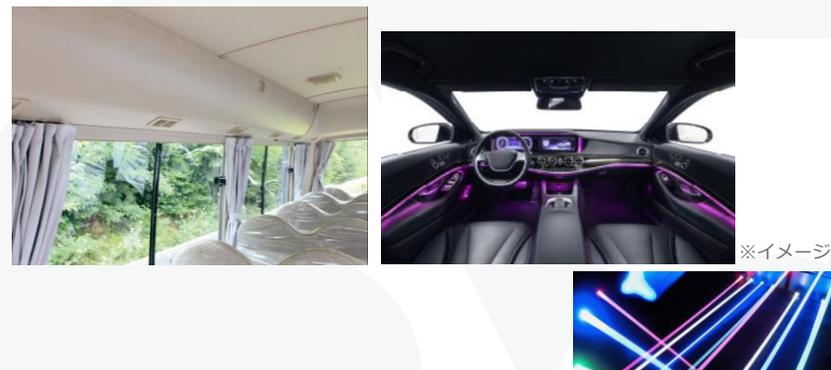
※イメージ

樹脂製フォークガード、家電・業務用冷蔵庫の枠材 など

主なトピックス

- ・ 欧州をはじめとするグローバル自動車メーカーの環境規制やサステナビリティ要求に対応するため、他社に先駆けて**フッ素化合物（PFAS）を一切使用しない『光ガイディングバーPFASフリータイプ』**を開発（2025年9月）。
- ・ 物流施設や倉庫・工場でのフォークリフトや、かご台車の柱への衝突を回避させる視認材『**樹脂製コーナーガード100**』を発売（2025年6月）。

— モビリティ関連 —



※イメージ

マイクロバス・大型バスのクーラーダクト、車載イルミネーション部材 など

精密事業

事業の概況

自動車の減産や中国市場の停滞の影響を受けていた車載向け反射防止部材が復調傾向、継続的な新規案件の獲得も続く。
また、非車載分野でのセールスエンジニアリングが奏功し、新たな分野として、カメラやセンサーなど電子機器向け部材も伸長。

通常プラスチック

ハーツラスAR

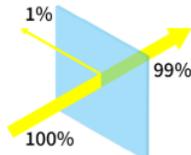


独自開発のウエットコーティング技術で

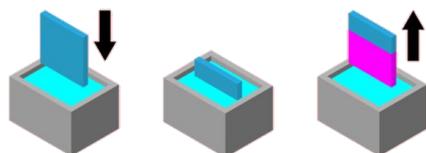
光線の透過率は**99%以上**

高透明

低反射



ウエットコート法で薄膜を形成



主な採用例



— 車載 —

メーターカバー、クラスターカバー、
CID(センターインフォメーションディスプレイ)カバー、
HUD(ヘッドアップディスプレイ)、デジタルミラー など



— 電子機器 —

ノートPC、携帯端末等のカメラレンズカバー、カメラの
電子ビューファインダーカバー、センサーレンズカバー、
液晶ディスプレイカバー、AR/VR/XR端末用カバー など



— 医療・防犯・産業・インテリア —

- ・高画質医療モニターカバー、医療用スキャナー窓カバー
- ・防犯カメラレンズカバー
- ・産業機械のゲージカバー・液晶カバー
- ・フォトフレーム ※Amazonで販売中 など



グローバル事業

事業の概況

ベトナム・タイの各現法の建材ビジネスが順調に推移。
さらなる事業拡大に向けてASEAN地域での顧客開拓に注力。
米国現地法人の建材OEM品や海外向け車両部材も好調に推移しており、販路拡大のための販売チャネル構築に向けた活動を推進中。

主要製品

住建・住設、家電、オフィス、モビリティ関連などのOEM供給に加え、米国自社ブランド、国内建材ブランドの海外展開を推進。

フクビUSA



フクビタイランド



フクビベトナム



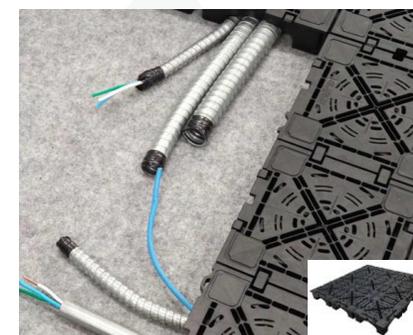
コンクリート面取り部材『Double Chamfer』



浴室用床シート『あんから』



巾木材『ソフト巾木』



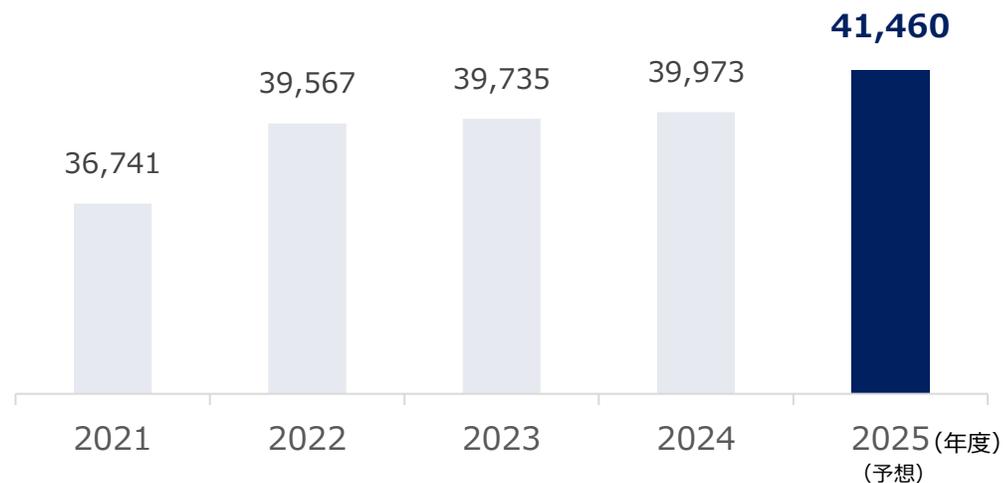
工場廃材をリサイクルした『OAフロア』



養生材『エコフルガード』

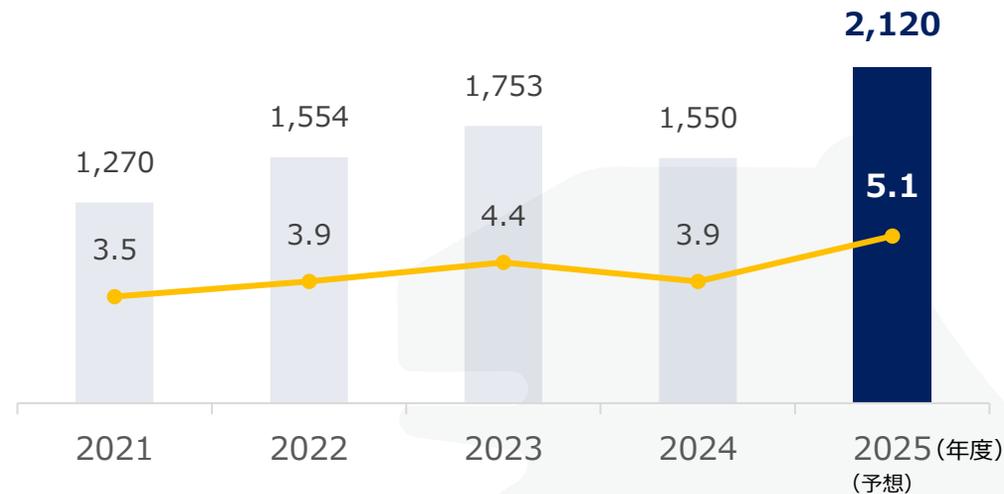
連結売上高

(単位：百万円)



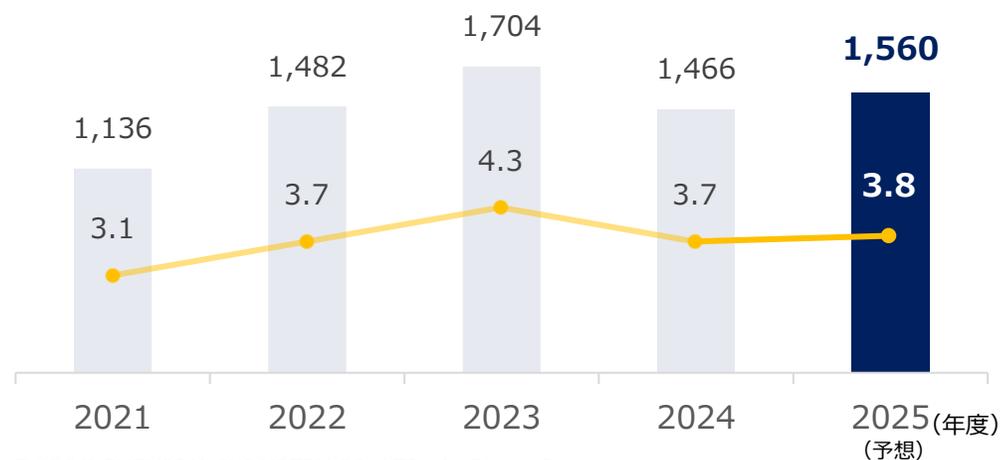
営業利益・営業利益率

(単位：百万円、%)



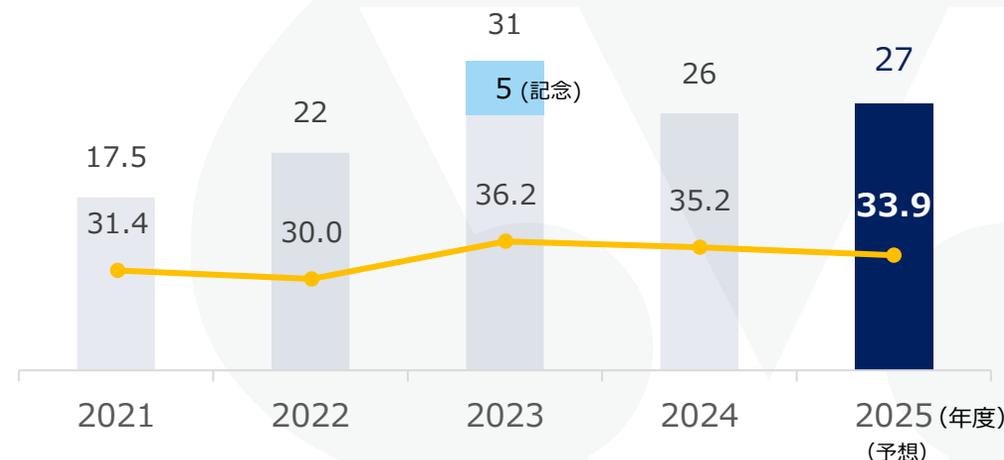
当期純利益・当期純利益率

(単位：百万円、%)



配当金・配当性向

(単位：円、%)



1. 会社概要・・・P3
- 2. 企業価値向上への取り組み・・・P15**
3. 業績推移と株主還元・・・P30



(第7次中期経営計画：2023年度～2027年度)

技術を^{おしだ}押し出し、未来へワクワク

これまで培った樹脂加工技術を軸に事業領域を広げ、
サステナブルな社会を創造します。

戦略1

循環型ビジネス拡大

- ・プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する
- ・環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R※実践によりグループの存在感を高める

※Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue

戦略2

強靱な収益基盤構築

- ・当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するバリューポジションをさらに拡大する
- ・社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業ポートフォリオの再構築、生産性向上によるさらなる原価低減を通じて付加価値をさらに高める

戦略3

成長を後押しする 組織づくり

- ・人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、社員の力が最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる
- ・戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する

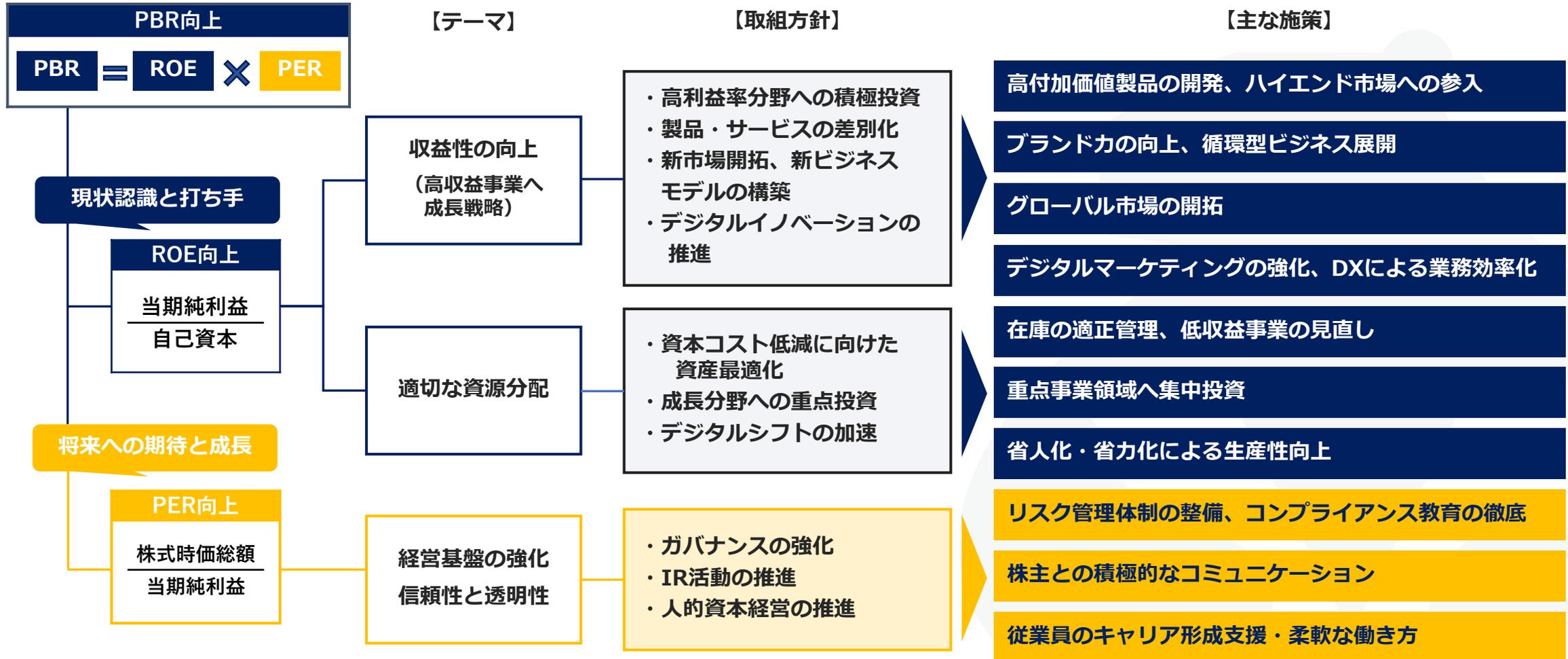
体質強化と財務健全化諸施策の実行によりROEはFY23比0.9P低下したが、**ROICは0.5P改善**。

		(単位：百万円、%)						
		FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24実績	FY27計画
収益性	売上高	41,265	35,636	36,741	39,567	39,735	39,973	45,000
	営業利益	1,168	827	1,270	1,554	1,764	1,550	2,800
	売上高営業利益率	2.8%	2.3%	3.5%	3.9%	4.4%	3.9%	6.2%
	EBITDA	2,576	2,218	2,561	2,843	3,006	2,894	-
	売上高EBITDA率	6.2%	6.2%	7.0%	7.2%	7.6%	7.2%	-
	親会社株主に帰属する当期純利益	946	915	1,136	1,482	1,704	1,466	2,160
	EPS	46.1	45.0	55.7	73	85.6	73.8	-
資本効率	投下資本利益率 (ROIC)	3.4%	2.3%	3.5%	3.7%	3.3%	3.8%	5.9%
	自己資本利益率 (ROE)	3.1%	3.0%	3.5%	4.5%	4.9%	4.0%	6.0%
財務健全性	D/Eレシオ	0.034	0.030	0.028	0.028	0.034	0.030	0.4倍以下
	自己資本比率	63.9%	66.7%	66.0%	66.0%	67.2%	68.7%	65.0%

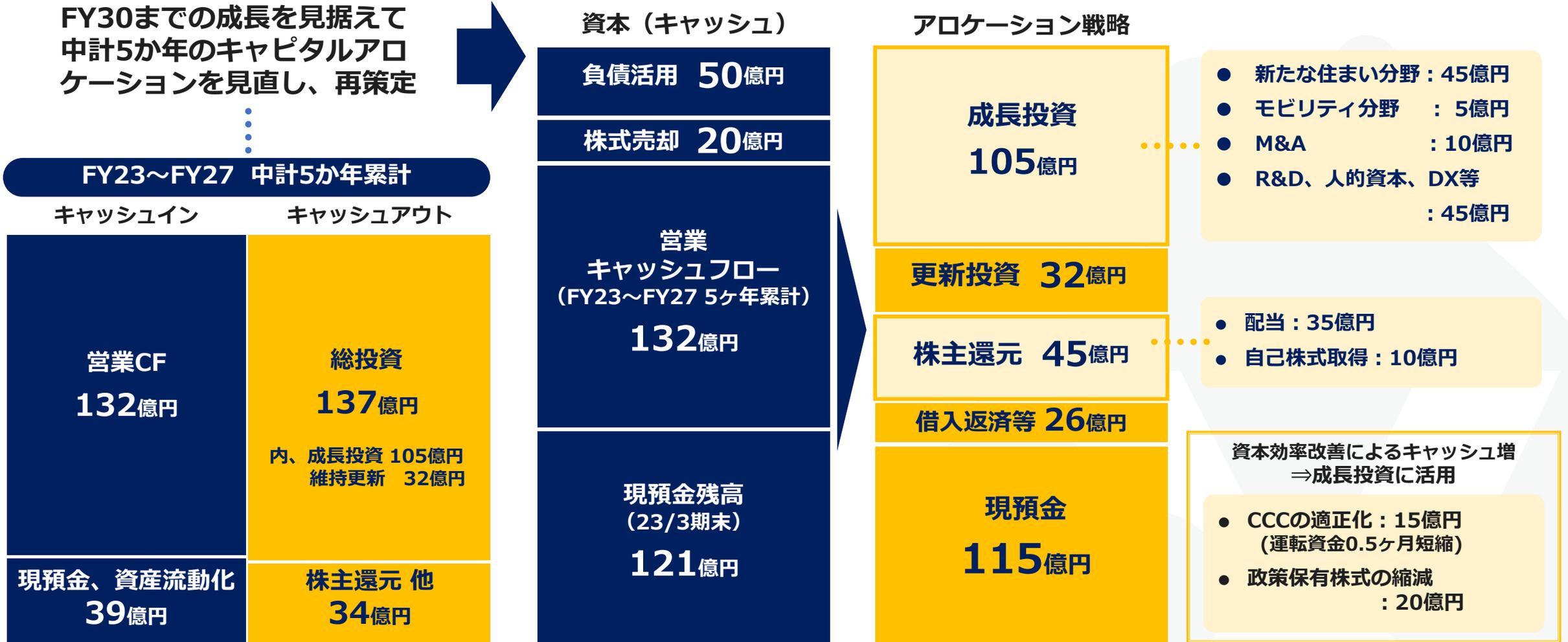
※1 FY=Fiscal Year (会計年度) の略

※2 FY23は休祭日要因調整後の運転資本金額を基にROICを算出

「現状」の改善と「将来」の成長期待の両面が課題であり、各々の取組方針に基づき施策を展開していく。



資本効率を意識したバランスシート改革に取り組み、**成長領域への投資と株主還元を強化。**



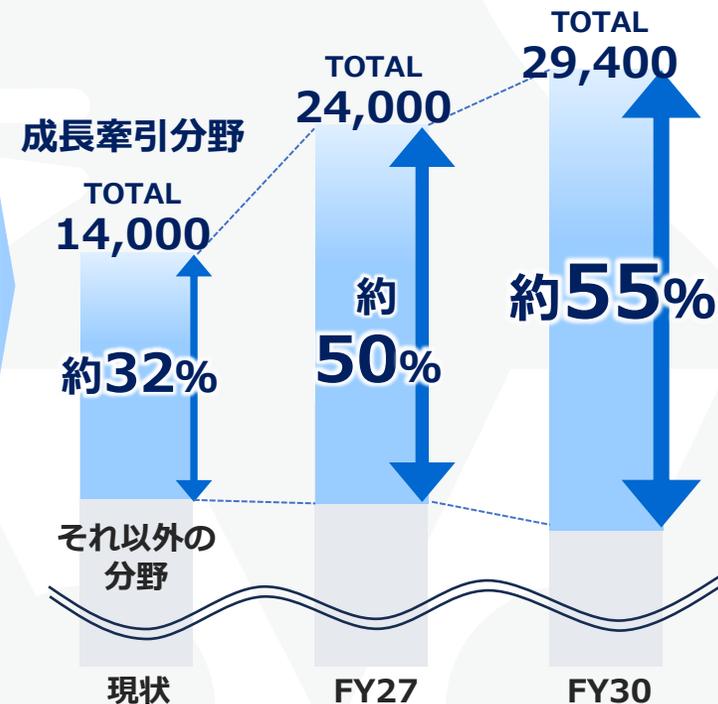
成長領域の拡大・収益力強化と併せて不採算部門等の縮小を実現しROE向上につなげる。

重点事業領域	成長率引分野	開示セグメント				
		建材	CSE	機密	グローバル	その他
新たな住まい オフィス& ファクトリー 	高性能断熱建築物/新築	●	●			
	リフォーム/リノベーション	●	●			
	非住宅建築物 (オフィス・工場・文教施設など)	●				●
	リサイクル	●	●			
	建築資材・OEM 海外	●	●		●	
	レンズカバー・機器等 国内・海外			●		●
モビリティ 	車載 (内装・ディスプレイ) 国内・海外		●	●	●	
インフラ 	海底ケーブル 土木/まちづくり		●			●

成長イメージ

成長率引分野の売上高

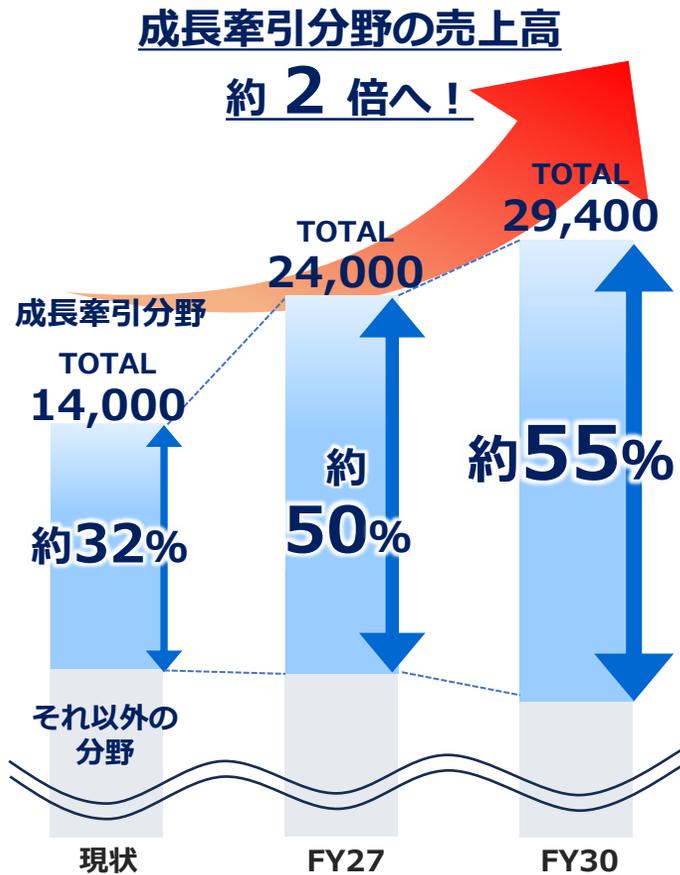
約2倍へ!



※ 棒グラフ軸は売上高。セグメント間取引消去による調整額は考慮せず。
 ※ 単位：百万円

次期中計を見据え「**目指したい重点事業領域**」を既存セグメントに紐づけ、成長軌道に乗せる。

成長イメージ



※ 棒グラフ軸は売上高。セグメント間取引消去による調整額は考慮せず。
※ 単位：百万円

重点事業領域別



■ 新たな住まい ■ オフィス&ファクトリー ■ モビリティ ■ インフラ

既存セグメント別



■ 建材事業 ■ グローバル事業 ■ 精密事業 ■ CSE事業 ■ その他の事業

新たな住まい

オフィス&ファクトリー

④
リ
サ
イ
ク
ル

① 高性能断熱建築物

② リフォーム/リノベーション

③ 非住宅建築物 (オフィス・工場・文教施設など)

⑤ 建築資材・O

⑥ レンズカバー

成長牽引分野 (①~⑧計)

FY27売上計画 24,000百万円

FY30売上計画 29,400百万円

⑦ 車載 (内装・ディスプレイ)

⑧ 海底ケーブル 土木/まちづくり

モビリティ

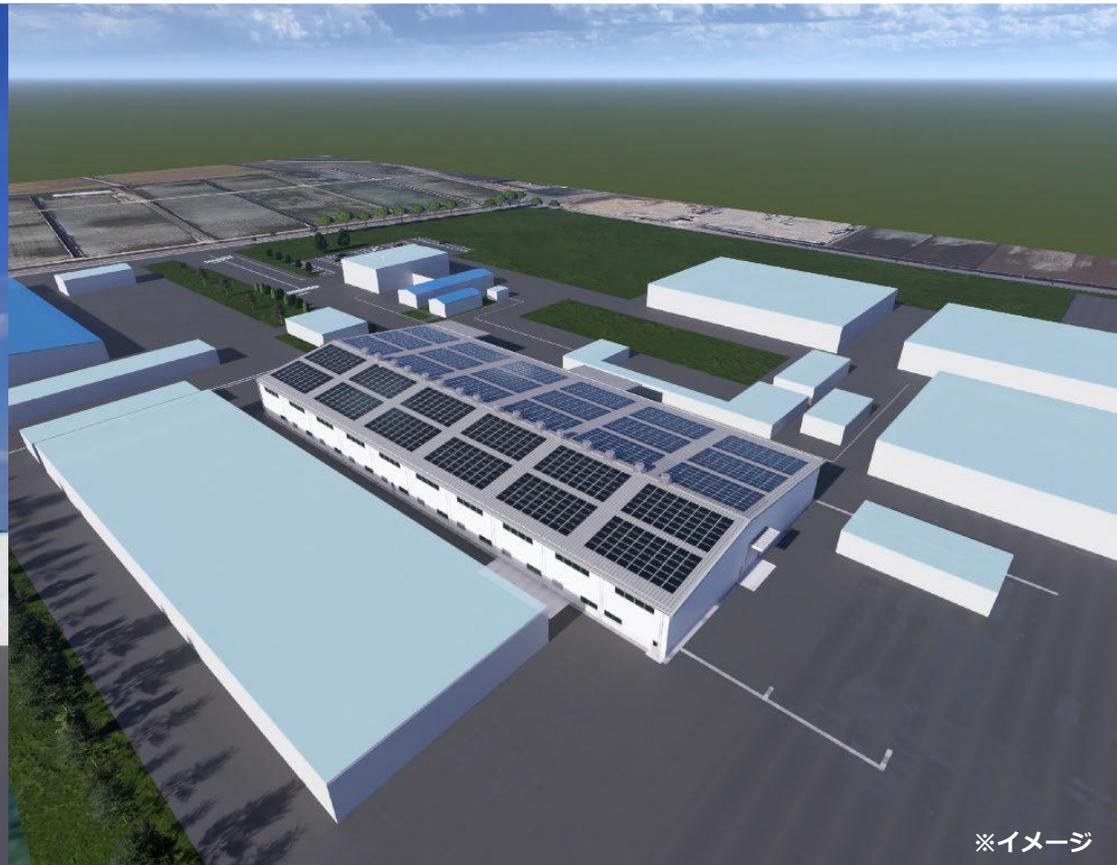
インフラ

文教施設の断熱改修



廃校を活用した断熱改修実証プロジェクト ※福井県南条郡南越前町立「今庄中学校」（2022年3月末閉校）

新工場



※イメージ

『フェノバボード』第2生産拠点（フクビ岡山）

※2027年度竣工予定、投資計画約45億円(経産省「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」に採択)

工場事業の拡大



「フクビ・リフォジュールアーキテクツ株式会社」始動 ※2026年4月よりフクビグループ内の工事事業を統合・集約

工場事業の拡大



光膜空間デザインシステム『リフォジュールスターシステム』

結露・カビ抑制



木質資源の循環



結露対策の親水断熱軽量パネル『シズクリア不燃』

CO₂の固定化に貢献する再生木『プラスッドデッキND KKAA』

※デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所

海外展開

PRODUCT INFORMATION

ECO FULL GUARD

SURFACE PROTECTION MATERIAL

NEXT LEVEL SURFACE PROTECTION

If you're looking for one of the toughest, most feature-rich, and versatile surface protection products on the market, Eco Full Guard is the only choice. With an embossed, water- and damage-resistant top layer, a recycled middle layer, a slide-resistant bottom layer, and an overall thickness of 3 mm (118 mil), Eco Full Guard is ready to protect any surface.

MAIN FEATURES



A water-resistant surface protection product with a waterproof, embossed top layer that is also non-slip and stain-resistant.¹



The embossing on the top layer of the surface protection sheet makes it less prone to slippage in the presence of liquids and dirt, thereby improving worksite safety.²



With a thickness of 3 mm (118 mil), our surface protection sheets are the thickest around, offering enhanced protection against drops and bumps.³



Unlike regular paper floor protection products, Eco Full Guard is significantly more durable due to its top and bottom layers, and can be reused multiple times.⁴



養生材『エコフルガード』

点検口枠・防水部材などを新たにマーケティング

高透過



高透明・低反射パネル『ハーツラスAR』

発行演出



車載イルミネーション部材『光ガイディングバー』

海底ケーブル



※写真はイメージです

海底ケーブル「ケーブリングスパーサー」

炭素繊維複合材 (CFRTP)



NEDO*「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム/実用化開発フェーズ / 熱可塑性薄層プリプレグを用いた革新的一貫製造プロセスの開発」(事業期間2021年度~2024年度)を完遂
2025年度「NEDO省エネルギー技術開発賞」理事長賞を受賞

※国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

1. 会社概要・・・P3
2. 企業価値向上への取り組み・・・P15
- 3. 業績推移と株主還元・・・P32**



売上高は前年同期に比べ**0.5%増**の302億25百万円、四半期純利益は同**19.5%増**の12億58百万円。

(単位：百万円)

	2025年3月期3Q	2026年3月期3Q	増減率	2026年3月期 通期業績予想	進捗率
売上高	30,089	30,225	0.5%	41,460	72.9%
売上総利益	9,048	9,209	1.8%	—	—
営業利益	1,269	1,247	Δ 1.7%	2,120	58.8%
経常利益	1,571	1,592	1.3%	2,230	71.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,053	1,258	19.5%	1,560	80.6%
PBR	0.40倍	0.48倍	0.08pt	—	—
PER	10.51倍	11.02倍	0.52pt	—	—
ROIC	4.0%	3.7%	Δ 0.4pt	—	—
ROE	3.9%	4.5%	0.6pt	—	—
D/Eレシオ	0.032	0.027	Δ 0.005pt	—	—

※ 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

3. 業績推移と株主還元 | 2026年3月期 第3四半期決算（連結）サマリー②

建材事業

新設住宅着工数が前年同期比13.7%減と厳しい環境の中、中計重点事業領域の断熱事業は売上高が前年同期比**6.3%増**、環境配慮型商品は同**34.5%増**と伸長、汎用品減少分をカバー。

(単位：百万円)

	2025年3月期3Q	2026年3月期3Q	増減額	増減率
売上高	19,370	19,008	△ 362	△1.9%
売上総利益	7,150	6,933	△ 216	△3.0%
営業利益	2,746	2,519	△ 227	△8.3%



再生木『プラスウッド』
(福井駅東口：福井市観光交流センター屋上広場デッキ)



高性能断熱材『フェノバボード』

CSE事業

非建築資材系OEMのうち、イルミネーション部材『光ガイディングバー』が前年同期比**487.4%増**。事業全体では売上高が前年同期比**0.2%増**、営業利益は同**76.3%の増益**。

(単位：百万円)

	2025年3月期3Q	2026年3月期3Q	増減額	増減率
売上高	7,605	7,621	16	0.2%
売上総利益	951	1,081	130	13.7%
営業利益	227	400	173	76.3%



自動車内装のイルミネーション部材などに利用される『光ガイディングバー』

3. 業績推移と株主還元 | 2026年3月期 第3四半期決算（連結）サマリー②

精密事業

車載向け反射防止部材の売上高が前年同期比**40.6%増**と好調に推移。

事業全体では売上高が前年同期比**12.0%増**、営業利益は同**103.9%の増益**。

(単位：百万円)

	2025年3月期3Q	2026年3月期3Q	増減額	増減率
売上高	1,242	1,390	148	12.0%
売上総利益	243	369	126	52.0%
営業利益	114	233	119	103.9%



車載向け反射防止部材『ハーツラスAR』

グローバル事業

ベトナム・タイの各現地法人の建材ビジネス、米国現地法人の建材OEM品や海外向け車両部材が好調に推移した結果、全体で前年同期比**14.6%の増収**となり、営業利益は**黒字に転換**。

(単位：百万円)

	2025年3月期3Q	2026年3月期3Q	増減額	増減率
売上高	2,481	2,844	363	14.6%
売上総利益	583	769	186	31.9%
営業利益	△102	26	128	—



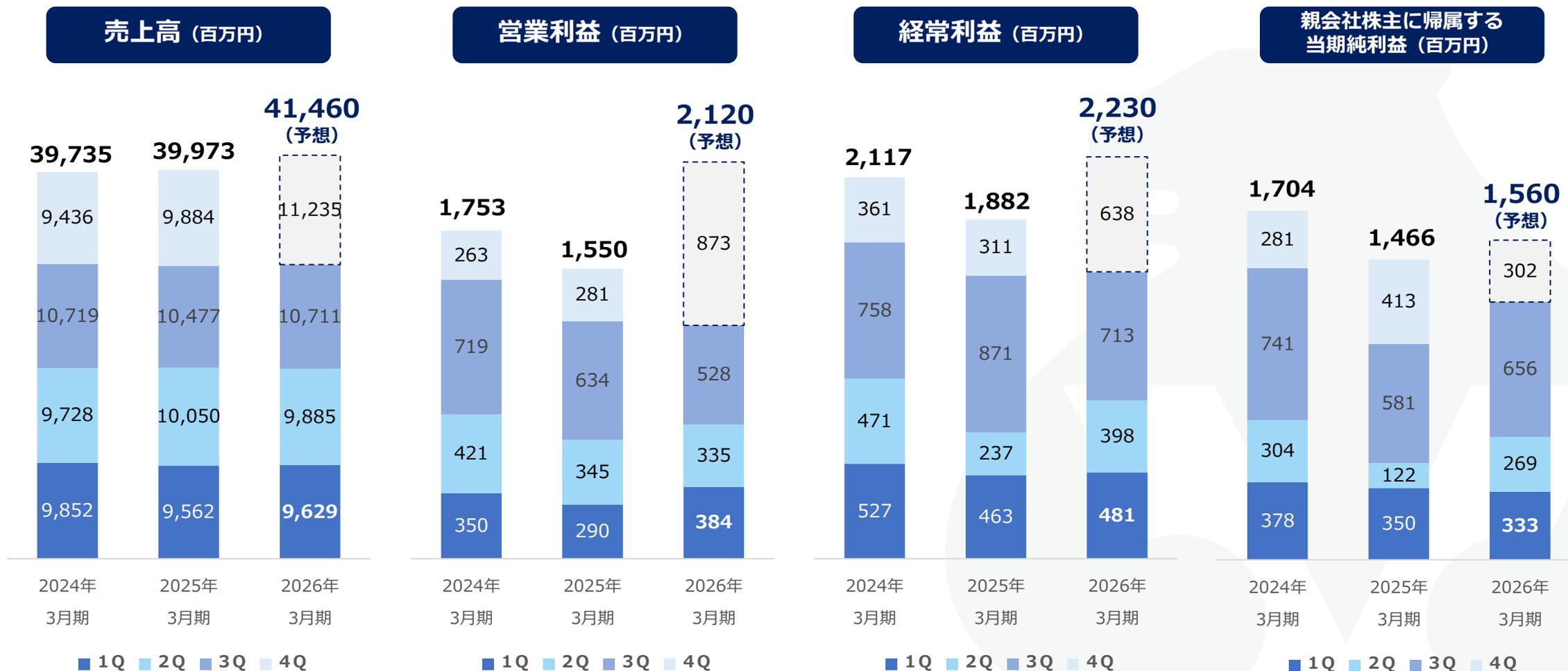
巾木材『ソフト巾木』



樹脂製フリーアクセスフロア『OAフロア』

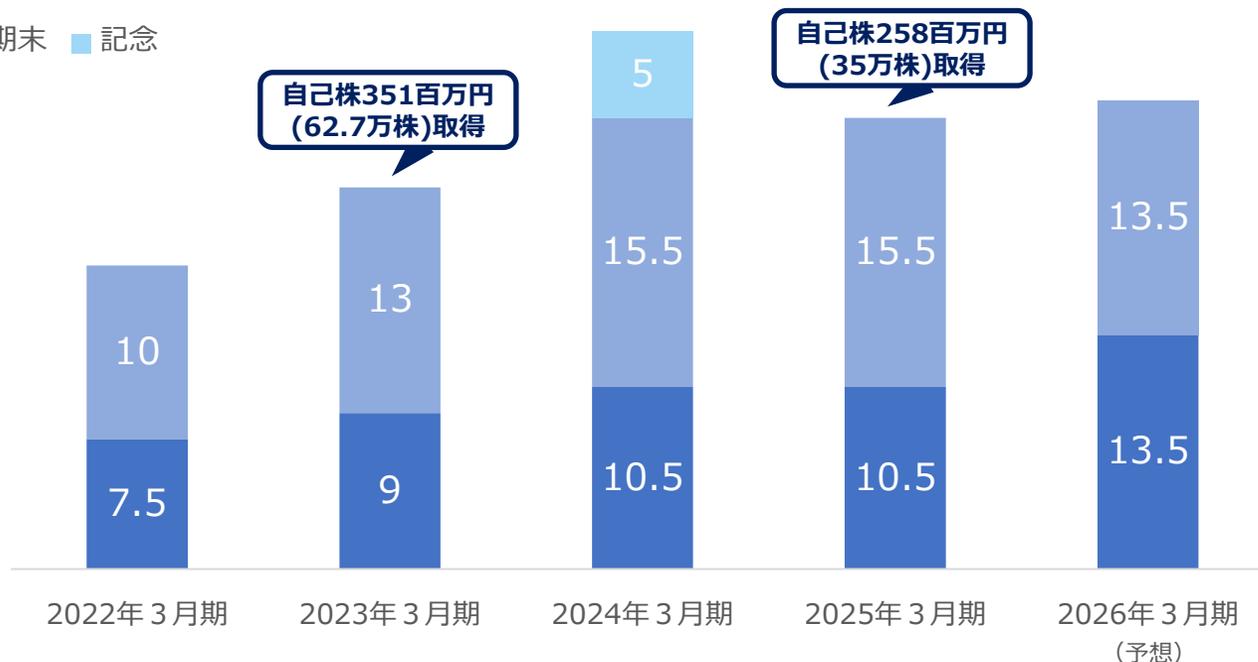
3. 業績推移と株主還元 | 2026年3月期 通期業績予想 (連結)

増産体制整備など施策実行による4Qでの売上高・営業利益確保を見込み、通期連結業績は据え置き。



2026年3月期配当は、年間配当金**27円00銭（増配）**を予定。

■ 中間 ■ 期末 ■ 記念



配当性向	31.4%	30.0%	36.2%	35.2%	33.9%
総還元性向	31.4%	53.6%	36.2%	52.8%	33.9%
配当利回り	2.9%	3.8%	3.4%	3.2%	—
株主総利回り TSR	161.2% (145.0%)	161.4% (153.4%)	252.0% (216.8%)	237.8% (213.4%)	—

※1 各数値は、それぞれ会計年度末の実績を基に算定。

※2 $TSR = (\text{キャピタルゲイン} + \text{配当金}) \div \text{株価} \times 100$ 。カッコ内は比較指標：配当込みTOPIX。

株主還元方針

安定的な配当を継続することを基本とし、将来に向けた成長投資に利益を配分しつつ、**配当性向30%以上**を原則とし、**累進配当***の導入と機動的な**自己株式取得**による**総還元性向の向上**により、株主還元の充実を図ります。

内部留保につきましても、重点事業領域への成長投資および事業基盤の強化のための投資資金に充当してまいります。

※累進配当：配当額の維持もしくは増配を原則とする配当政策

3. 業績推移と株主還元 | 株価の推移



※ 2023年1月4日～2026年3月13日までの株価・出来高の推移

フクビ化学の概要

70年以上にわたり培ってきた「樹脂」の“配合・成形・加工”技術により、建築資材から産業資材、精密化工品など様々な分野において新たな価値を創造・提案する“開発型”化学メーカー。

企業価値向上への取り組み

企業価値向上に向けた長期ビジョン「企業価値向上2030」を掲げ、成長戦略と財務戦略の両輪を推進することで、2030年度での**売上高500億円**
営業利益35億円、ROIC 7%以上、ROE 8%以上の成長を目指す。

業績推移と株主還元

資本効率を意識したバランスシート改革に取り組み、成長領域への投資と株主還元を強化。2026年3月期より、株主還元方針に「累進配当」を導入。2026年3月期は、**1株当たり年間配当金27円（増配）**を予定。

より詳細な情報は当社WEBサイトをご参照ください。

当社ホームページ

<https://www.fukuvi.co.jp/>



中期経営計画/企業価値向上2030～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

<https://www.fukuvi.co.jp/ir/strategy>



本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進室 (0776-38-8415)